

地域のボランティアスクール

ふれあい

横浜みどりの学校ひまわり

2023年1月号 No.57

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、11年前に開設されました。

新 春 雑 感

校長 渡辺 正彦

新年のお慶びを申し上げます。

本校の学校だよりは隔月の発行のためにご挨拶が遅れまして失礼いたします。

横浜みどりの学校ひまわりは、今年12年目を迎えて新たな一步を踏み出します。

町の一角に佇む小さな私塾は今年も学校で苦戦するマイノリティの子ども達の支援のために精一杯の活動をしていくつもりです。皆様のご理解とご支援を引き続き宜しくお願い申し上げます。

新年を迎えての思いは各人の置かれた状況などによりそれぞれ異なることと思います。後期高齢者を国から認定された私も新年を迎えての思いは時と共に変化してきました。

昭和20年代の子どもの頃は新年が待ち遠しく指折り数えたものでした。30年代の青春期の新年は国の将来を憂いて仲間との議論に明け暮れました。そして今年は、生きることの意味や日々の大切さをあらためて自問自答する新年になりました。

生来、能力的に秀でずに劣等感的思考の強い私は、思考の視点にも偏りがあるようです。新春恒例の箱根駅伝や女子駅伝を視聴していてもテレビに映し出される沿道の人達の様子が気になったり、優勝者のインタビュー画面の後方を横切る敗者の気持ちを慮ってしまいます。

色々な視点で世の中の出来事を眺め、論じることはとても大切であり、私のような斜め視点の少数者も時には必要なのかもと自らに言い聞かせております。

今年もこのマイノリティ的な斜め視点から学校教育という国の制度に馴染めずに苦戦している私同様のマイノリティの子ども達を支援できたならばと思います。

新春の教育テレビで「馬に生まれたら木に登ることを目指すな」という格言のようなものがあることを知りました。持って生まれた個性を尊重せよということでしょうか。努力しても出来ることと出来ないことを認識する合理的思考が大切であるとも理解できます。

わが国の学校教育は明治の学校制度の施行以来、一貫して「全ての面で調和のとれた子ども」、「国の決めた学力目標へ到達できる子ども」の育成を主眼に教育がなされてきました。その流れは基本的には今も変わりません。学力で言えば、算数も国語もそして体育も、全ての教科や領域に秀でた子どもの育成であり、それは「総合的学力の子ども」、「まんべんない学力を有する子ども」の育成であります。ある人はこれを「ゼネラリスト育成教育」と呼んでおります。

この世に生まれてくる子どもの中には「ゼネラリスト育成教育」に不向きな子どもが確実に存在します。そのような子どもには、無理に木に登らせずに視点を変えて牧草で育む教育が必要なのだと思います。きっと他人には無い卓越した能力を発揮することでしょう。「スペシャリスト育成教育」です。病院に総合診療科と専門診療科があるように教育の場においても両方の教育システムがあっても良いはずです。

今、明治以来の学校教育の過渡期にあって「横浜みどりの学校ひまわり」は、公立学校との連携を視野に、ボランティアで運営の私塾として子ども達の個性を積極的に評価する学校でありたいと思います。「小さいから出来る」「私塾だから出来る」本校の最大の強みを生かして、今年も子ども支援をしたいと思っております。

こんなことしました！(活動の報告)

◆「妊婦さん薪割り」

青葉区の助産院「バース青葉」の妊婦さん達が薪割りに来校されました。

◆第2回「ひまわり遠足」(12月10日)

児童・生徒会の計画で小学生と中学生の合同遠足が実施されました。目的地は横浜みなとみらい地区。普段行き慣れた町でも友達との散策は一味違いました。



◆「香り袋づくり」(12月17日)

鍼灸・アロマ・ヨガ部会主催のラベンダーを材料にした香り袋づくりが行われました。子ども達、保護者とボランティアの会話がさわやかな匂と共に弾みました。

◆「ひまわりふれあいレストラン」(12月24日)

神奈川フードバンクさん寄贈の食材にひまわり野菜を加えての今回のメニューはチキンのトマト煮とポタージュ、洋風炊込みごはん、ヨーグルトサラダほかの豪華料理。おかわりが続出の嬉しい1日でした。



◆「ひまわり風クリスマス会」(12月24日)

ふれあいレストランの後は子ども達計画のクリスマス会をしました。ビンゴ大会には豪華景品が並びました。



◆「軽井沢校舎の引越」(12月28日)

軽井沢校舎にマンション建設のため備品の引越し作業をしました。皆さんご苦労様でした。

◆「心理関係有資格者の研修会」(1月4日)

臨床心理士、公認心理師、児童発達支援士などの研修会を行い、今後の予定や課題などを話題にしました。

こんなことしてみます！(活動計画)

◆「1月のひまわりふれあいレストラン」(1月28日) ※学校だより発行時終了さむーい冬にあったかーくなるものを計画中です。メニューは秘密！

◆「ボランティア研修会」(日時未定)

ボランティアの資質と意識向上を目指した研修会です。心理関係の専門知識も研修をします。



ボランティアの先生をご紹介します Vol.15 A・M先生

高校生の母親でもある先生は、塾教師の経験もあります。先生は鍼灸師の資格をもち、本校の保護者とボランティアでつくる専門部会の「鍼灸・アロマ・ヨガ部会」の代表でもあります。

この部会は、鍼灸やアロマ、ヨガなどの技法から子どもへの支援をアプローチします。先生はアロマの香りをを用いての子どもの心の安定にも取り組んでおられます。留学中のお子さんも留学先から本校の通信教育の指導者として活躍しております。

おおらかで穏やかな先生は、子ども達の声に時間をかけて耳を傾ける姿が印象的です。本校の中心的なボランティアの一人として学校運営上も貴重な存在です。

今年は、以前習っていた「ヨガ」にもう一度挑戦したいそうです。 青葉区内在住。

トピックス

★ひまわり OB 会が発足しました

ひまわり卒業生によるOB会が新たに発足しました。高校生を中心とする会ですが、今後は進路情報の交換の他に親睦、ひまわりの後輩の見守りなど新たなひまわりの戦力になることが期待されます。

★アコーディオンを購入しました

子ども達のあらゆる興味・感心に対応するために本校支援団体の虹野社社長様のご協力を得て本格的なアコーディオンを購入しました。現在、指導者、興味のある方を募集中です。



★子どもリーダー制度発足

教育活動をより子どもの主体的活動にするために子どもリーダー制度を取り入れます。子どもリーダーは、指導者と一緒に一日の活動を遂行します。指導者の立場を理解させ、他人の気持ちを理解させる目的もあります。

★下台のどんど焼に参加しました

本校校長がさつきが丘小学校の校長の時に立ち上げた「さつきが丘小学校郷土史の会」(下山一正会長)主催の「下台どんど焼き 1月14日(土)」にひまわり農場の隣接畑で開催されました。後援のひまわりはミニバザーを出店しました。

ひまわり農場だより



農閑期の農場には白菜、イチゴ苗、インゲン苗、ヤーコンなどが寒さに負けずに頑張っております。今は、春に備えて土作りに精を出す日々が続きます。

鶏、カメも元気です。野良猫達も時々顔を見せに来てくれます。

ひまわり年間計画 (会議・研修会・学校行事等)

※コロナ感染状況による変更あり

1 月	学校開き どんど焼 (バザー、餅つき) ふれあいレストラン	7 月	そーめん流し大会 OB 会総会 ふれあいレストラン
2 月	ボランティア研修会 ふれあいレストラン	8 月	夜の学校体験会、水鉄砲大作戦 ボランティア研修会 進路情報交換会 ふれあいレストラン
3 月	ひまわり検定月間 少年の主張大会 ふれあいレストラン	9 月	作品展 ふれあいレストラン
4 月	メダカ広場自然観察会 ボランティア研修会 ふれあいレストラン	10 月	ミニ運動会 ボランティア研修会 ふれあいレストラン
5 月	児童・生徒総会 保護者交流会 ふれあいレストラン	11 月	ひまわり遠足 ふれあいレストラン
6 月	設立記念バーベキュー大会 ボランティア研修会 定期総会 ふれあいレストラン	12 月	クリスマスお楽しみ会 ボランティア研修会 ふれあいレストラン

ボランティア募集

【内容】 子どもの見守り、学校事務など

【条件】 ・週1回以上勤務可能な方

以上のような方を特に求めています。

★ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、
渡辺 (090-9201-3992) までお気軽に
お問い合わせください。

最新情報はホームページ

<http://himawari-school.jp/>

と Facebook にてアップデートしています。